

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD11		
授業科目名	ファッションビジネス論Ⅰ		
授業時間数	75		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション産業の仕組みや特性について解説する。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。
到達目標	企画、生産から流通に渡るファッションビジネスの業務を遂行する際に、必要なビジネスの基礎的な知識を修得する。 ファッションビジネス用語を習得し、応用能力を発揮出来るようになる。
授業計画	第1回 ファッションビジネスの概要（産業とビジネス特性、企業と生活者） ファッション産業のビジネス特性を知り、企業と消費者、生活者の関係を理解する 第2回 ファッション商品とファッションサービス ライフスタイルを提案するファッション商品の広がり和服务を理解する 第3～4回 繊維ファッション産業の構造、職種 繊維ファッション産業の構造とそれぞれの段階での業務に携わる職種について理解する 第5～6回 ファッションビジネスの変遷、近年の傾向 現在のファッションビジネスの原型となった時代から今日迄の時代背景と共に、ビジネスの変遷について理解する 第7～8回 アパレル産業について（ブランド、インポート、ライセンス含む） アパレル産業の構造と特性、ブランドビジネスについて理解する 第9～11回 小売産業について（業態・業種、商業集積、SC） 小売産業の構造と各業態、業種の特性を理解する 第12回 小売企業の仕組みと業務 小売企業の組織と業務、販売について理解する 第13回 流通について（役割と機能、流通コスト、取引条件） 流通の役割と機能、取引に関わる条件を理解する 第14回 アパレルメーカーと小売企業の取引実例（納品、約定、決済、価格） アパレルメーカーと小売企業の取引について、実例を基に理解する 第15～17回 マーチャンダイジングの基礎知識 アパレルMDとリテールMDの特性と業務を理解する 第18回 会社知識 会社組織と企業の社会的責任について理解する 第19回 企業会計 企業会計における一連のプロセスを理解する 第20～23回 計数知識 計数管理の重要性を知り、企業の経営活動を数値でとらえる手法を修得する 第24回 デジタルマーケティング インターネットの各種デジタル媒体の特性を知り、既存顧客、潜在顧客と繋がる手段を修得する 第25回 注目される業界キーワード ファッション業界において注目されるキーワードを知り、事例を基にファッションビジネスの現状を理解する
教科書	ファッションビジネスⅠ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD22		
授業科目名	ソーイング		
授業時間数	120		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付ける。
到達目標	基本的アイテムの制作演習を通して生地選びから裁断・縫製に至るまでの技術を習得し、生地やデザインに応じた縫製技術を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を基に制作することで既製服仕立てへの理解を深める。
授業計画	第1回 ソーイングの基礎知識とミシンの使い方（課題名/基礎縫い） 用具の説明、ミシンの使い方を理解し、基礎縫いの課題をとおして正確に縫う力を身に付ける 第2回 制作の基礎（課題名/縫い代始末、ファスナー付け部分縫い） 縫い代始末、ファスナー付け部分縫いを通して衣服制作の基礎的な技術を身に付ける 第3回 工業用パターン制作（課題名/スカート工業用パターン） スカートの構成を理解し、その縫製仕様に合わせて工業用パターンを制作する技術を身に付ける 第4回 生地の裁断（課題名/スカートの裁断） 生地特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける 第5～7回 スカート制作（課題名/スカート） スカート制作を通して、ダーツ縫い、ギャザー、ファスナー付け、ベルト付け、仕様書作成等の技術を身に付ける 第8回 生地の裁断（課題名/パンツの裁断） 生地特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける 第9～12回 パンツ制作（課題名/パンツ） パンツ制作を通して、ポケット付け、タック、ファスナー付け、ベルト付け仕様書作成等の技術を身に付ける 第13回 生地の裁断（課題名/長袖シャツの裁断） 生地特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける 第14～17回 長袖シャツ制作（課題名/長袖シャツ） 長袖シャツ制作を通して、身頃の組立、台衿付きシャツカラー、短冊あきカフス付け、仕様書作成等の技術を身に付ける 第18回 生地の裁断（課題名/ジャケットの裁断） 生地特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける 第19～22回 ジャケット制作（課題名/ジャケット） ジャケット制作を通して、テーラードカラーの仕立て、二枚袖の仕立て、まとめ作業、仕様書作成等の技術を身に付ける 第23～24回 部分縫い（ポケット等） 部分縫いでポケットの構造を理解し、制作技術を身に付ける
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD24		
授業科目名	販売概論		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション販売の概要とショップスタッフの対応力、快適な売場運営について指導する。 実店舗に求められるショップスタッフの役割を理解し、お客様の購買行動と心理プロセスに沿った対応力を修得する。
到達目標	ファッション店舗における一連の業務の流れを学び、販売員としての基礎知識、実務を修得する。 消費者の購買心理を理解し、状況に応じた適切な対応力を修得する。 消費者の価値観、購買動向の現状を知り、商品のライフサイクルに合わせた適切な売場運営を考えられる力を身に付ける。
授業計画	第1回 ファッション販売とは お客様の満足感を生み出す、お客様第一に考えたおもてなしと接客技術について理解する。 第2回 販売員として求められる要素 販売チャネルが多様化する現状を知り、望まれる力と求められる知識・技術を理解する。 第3回 販売スタッフの基本マナー（身だしなみ、表情、態度、動作） お客様との豊かな関係性を築くベースとなる人としてのマナーのマナーを身に付ける。 第4回 お客様とは 求める満足価値 お客様は何を求めて店舗に来店されるのか、顧客へと変わっていくプロセスと合わせて理解する。 第5回 消費者行動とファッション表現、ファッション生活のニーズ ファッション生活ニーズが及ぼす消費行動を理解する。 第6回 ファッションにおけるマズロー欲求5段階説の理解 人間の欲求（身体的、精神的欲求）5段階説を理解し、合わせてファッションにおける欲求を理解する。 第7回 家計と消費 家計における消費バランスを理解する。 第8回 消費者問題と消費者の権利 近年の消費者問題の傾向を知り、関連する制度を理解する。 第9回 ライフスタイルとファッション ライフスタイルの変遷と多様化に伴うファッション表現の広がりを理解する。 第10～11回 シーズンサイクルについて（シーズンカレンダー作成） シーズン循環区分を知り、社会行事に比例する生活者のモチベーション（動機づけ）を理解する。 第12～13回 売場商品構成について（売場と商品分類、演出と陳列） お客様の目に映るモノやコトの全てに配慮したビジュアル表現の基本となる考え方を修得する。 第14回 お客様の購買行動 ITの発達により多様化するコミュニケーションや情報収集の方法、購買動機について理解する。 第15～16回 購買心理のプロセスについて 買い物という目的を果たすための心の動きを、入店から退店までの流れに沿って理解する。 第17～18回 接客の流れ（アプローチ～クロージング） 接客の一連の流れを知り、人の心の動きに沿って販売員の対応を修得する。 第19～23回 ショップにおける計数管理 販売や経営の実態を「計数」で把握し、問題の発見と改善、計画の評価を行うことを理解する。 第24～25回 冠婚葬祭（フォーマル知識） 冠婚葬祭における、それぞれの場面に相応しいフォーマルスタイルを理解する。 第26～27回 時代とファッション販売（販売員）の変遷 時代、社会背景と共に変化してきたファッション販売員の影響力を理解する。 第28～30回 販売とコミュニケーション / ロールプレイング（商品提示・セールストーク） 販売員が認識しておくべき商品知識とセールストークを修得する。
教科書	担当教員による配布資料作成 ファッションビジネス I（日本ファッション教育振興協会） ファッション辞典（文化出版局）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD12		
授業科目名	総合デザイン論		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。
到達目標	建築、インテリア、芸術、グラフィック、ファッション、インターネット、ディレクションなど各デザイン分野の専門知識を広く理解し、視野の広い発想力を養う。
授業計画	第1回 広告写真について
	第2回 彫刻について
	第3回 フォトショップについて
	第4回 インターネットリテラシーについて
	第5回 デザインとアートについて
	第6回 サインについて
	第7回 映像について
	第8回 建築とデザインについて
	第9回 伝統工芸とデザインについて
	第10回 雑貨デザインとブランディングについて
	第11回 ファッションブランドについて
	第12回 インテリアデザインについて
	第13回 アールブリュッドとデザインについて
	第14回 雑貨デザインとブランディングについて
	第15回 ファッションスタイリングについて
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	受講レポート(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD13		
授業科目名	素材学		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	ファッションの材料となる素材の基本的性質を知ると共に、多くの生地に触れてその感覚や使い方を身につける。その特性とそれを活かす方法を理解することで実践的に役立て、また、取り扱いを理解することで、より専門的知識を持ったデザイナーやアドバイザーを目指す。市場で使われている生地の名前や、そのアイテムとの関連なども学修する。		
到達目標	材料として使用する素材に触れ繊維の基本的性質を知ること、素材の特性を理解する。 生地の名称やその特性を理解し、デザインへ活かす力を身に付ける。 素材の取り扱い方法を理解し、商品の説明に取り入れることができる。		
授業計画	第1回	ファッションの中での素材の役割	
	第2回	繊維の種類とその特性 1 綿、麻	
	第3回	繊維の種類とその特性 2 絹	
	第4回	繊維の種類とその特性 3 羊毛	
	第5回	天然繊維の特性と各繊維の比較	
	第6回	繊維の種類とその特性 4 再生繊維	
	第7回	繊維の種類とその特性 5 半合成繊維	
	第8～9回	繊維の種類とその特性 6 合成繊維	
	第10回	繊維の種類とその特性 7 その他の繊維	
	第11回	糸の種類と特性	
	第12回	織りの種類と特性	
	第13回	編みの種類と特性	
	第14～16回	代表的な生地の名称と特性	
	第17回	レースの種類と特性	
	第18回	染色の種類と特性	
	第19～20回	加工の種類と特性	
	第21～22回	取扱い絵表示	
	第23～24回	柄の種類	
	第25～26回	皮革・毛皮の種類と特性	
	第27～28回	獣毛の種類と特性	
教科書	第29回	デザインと素材の関係（知識）	
	第30回	デザインと素材の関係（応用）	
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD14		
授業科目名	服飾史		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	西洋服飾の歴史を学ぶ。歴史上でどのような文化のもと、どのように美意識が変化していくのか、またそれにより人々のファッションに対する考えやそのデザインがどのように影響を受けていくのかを学修する。過去の時代背景とファッションの関連を学ぶことにより、今後の流行を予測する力を身につける。
到達目標	西洋服飾の歴史を学び、その時代背景とファッションの関わりを理解する。 過去のファッションの移り変わり、時代との関わりを学ぶことで、今後のファッション予測の考え方を身に付ける。
授業計画	第1回 服飾史とは 第2回 衣服の基本形について 第3回 古代メソポタミア・エジプトの時代背景と服飾について 第4回 古代ギリシャの時代背景と服飾について 第5回 古代ローマの時代背景と服飾について 第6回 中世ロマネスクスタイルの時代背景と服飾について 第7回 中世ゴシックスタイルの時代背景と服飾について 第8～9回 近世ルネサンススタイルの時代背景と服飾について 第10～11回 近世バロックスタイルの時代背景と服飾について 第12回 中世から近世への移り変わりとその特性 第13～15回 近世ロココスタイルの時代背景と服飾について 第16～17回 近代の服飾1 フランス革命からロマン主義の時代背景と服飾について 第18～19回 近代の服飾2 クリノリンスタイルの時代背景と服飾について 第20回 近代の服飾3 バスルススタイルの時代背景と服飾について 第21～22回 アールヌーボーとアールデコについて 第23回 現代 1920年代ファッションの時代背景と服飾について 第24回 現代 1930～40年代ファッションの時代背景と服飾について 第25～26回 現代 1950～70年代ファッションの時代背景と服飾について 第27～28回 現代 1980年代以降 20世紀の時代背景と服飾について 第29～30回 現代ファッションとこれからの予測
教科書	西洋服装史
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD15		
授業科目名	社会研究 I		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て自己の社会的確立を目的とし、進路決定の基本となる考え方と就職活動の具体的方法を学ぶ。
到達目標	就職活動に行なう上で必要とされる知識やマナー(礼儀作法)、コミュニケーションを習得し、前向きに取り組む力を身に付ける。
授業計画	第1回 オリエンテーション(就職対策について)
	第2回 職業理解①(職種について理解する)
	第3回 職業理解②(業界研究・企業研究のやり方について)
	第4回 コミュニケーションの技法①(傾聴 聞き方)
	第5回 コミュニケーションの技法②(伝え方：自己紹介文)
	第6回 自己分析① 自分のこれまでを考えてみる(長所と短所 リフレーミングのワーク)
	第7回 自己分析② 自分のこれからを考えてみる(はたかちカードのワーク)
	第8回 自己分析③ 役割と適性(好きなこと得意なことを活かして働く)
	第9回 自己分析④ 自己PRを作成する
	第10回 履歴書①(履歴書やESの書き方について)
	第11回 履歴書②(履歴書の作成)
	第12回 面接対策①(面接試験に向けての対策、面接の方法、準備の方法)
	第13回 面接対策②(実践：集団面接)
	第14回 面接対策③(実践：集団面接)
	第15回 文書作成(お礼状の書き方)
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD16		
授業科目名	ビジネスコミュニケーション		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客サービスに従事し、接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感のもてるマナーやコミュニケーション力を修得する。			
到達目標	基本的なビジネスマナーを学び、日々のコミュニケーションを向上し、社会人として円滑な人間関係を築くための基礎力を身に付ける。			
	第1回	社会人としての心構え		
	第2回	マナーとは / ビジネスマナーの役割		
	第3回	基本動作（立ち居振る舞い、姿勢とお辞儀）		
	第4回	第一印象（第一印象が決まる要素とは）		
	第5回	言葉遣いの基本① 敬語（敬語の役割とポイント）		
	第6回	言葉遣いの基本② 間違いやすい敬語		
	第7回	信頼と好感度を与える話し方①（声のトーン・表情・アイコンタクト）		
	第8回	信頼と好感度を与える話し方②（肯定的な表現・クッション言葉）		
	第9回	傾聴力（話の聞き方/ミラーリング、おうむ返し、言い換え）		
	第10回	電話対応①（電話対応のポイント）		
	第11回	電話対応②（電話の掛け方）		
	第12回	電話対応③（電話の受け方）		
	第13回	電話対応④（状況に応じた対応）		
	第14回	電話対応⑤（伝言、メモの作成）		
	第15回	電話対応⑥（アポイントの取り方）		
	第16回	電子メールのマナー①（メリットと注意点）		
	第17回	ビジネス文書①（社内文書、社外文書）		
	第18回	ビジネス文書②（お礼状、お詫び状）		
	第19回	来客時対応について / 席次、名刺の受け取り方、渡し方（同時交換）		
	第20回	職場におけるルールとマナー / 同僚、上司に対してのマナー（報告・連絡・相談）		
	第21回	就職活動に向けて		
	第22回	訪問時のマナー（会社訪問のマナーを理解する）		
	第23回	面接試験のマナー（準備～会場到着～受付～控え室～面接室）		
	第24～26回	面接対応① 面接時の入室、好印象を与える自己紹介の仕方		
	第27～29回	面接対応② 質問に対してのビジネスマナーを意識した返答の仕方		
	第30回	インターンシップに向けて		
	教科書	担当教員による配布資料作成		
	成績評価方法	定期試験（50％）、テーマに沿った演習評価（30％）及び、授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。		
	備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD17		
授業科目名	ベーシックデザイン		
授業時間数	75		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。
到達目標	色の基礎知識を習得するための色彩検定取得と、その知識を生かしテーマに沿った色彩計画、平面構成力、画材による表現技法を修得する。
授業計画	第1回 色の分類と三属性 第2回 混色 第3回 光と色 第4回 視覚構造 第5回 照明・混色 第6回 PCCS 第7-8回 心理効果・視覚効果・知覚効果 第9-10回 色彩調和 第11回 地と図 第12-13回 色彩効果 第14回 色名 第15-19回 色彩検定対策 第20-25回 平面構成
教科書	文部科学省後援 ひとりで学べる色彩検定2・3級試験テキスト&問題集 第2版 (ナツメ社)
成績評価方法	各課題における作品評価点(50%)、色彩検定可否(10%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(40%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD18		
授業科目名	ファッションマーケティング I		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション企業におけるマーケティング基礎を指導する。クラスター分析によるイメージマップの作成とライフスタイルを始めとする周辺情報を収集・分析する力を身に付ける。又、市場調査を通し、情報収集・分析、アパレル業界のサイクルを理解する。		
到達目標	マーケティングの基礎知識の修得。 クラスター分析を行いターゲットとそのライフスタイル分析ができる力を身に付ける。 市場調査を通し、マーケットリサーチと情報収集・分析、予測力を身に付ける。		
授業計画	第1回	マーケティングとは マーケティングを構成する要素	
	第2回	マーケティング戦略 / ブランドとは（ターゲットとコンセプト）	
	第3回	ファッション企業のマーケティング特性	
	第4回	ポジショニング / プロダクトサイクル / ファッションサイクル	
	第5～6回	マーケティング上の消費者分類手法	
	第7回	自己分析①（ファッション生活）	
	第8～9回	自己分析②（ライフスタイル）	
	第10～13回	ファッションイメージ / クラスター分析・演習	
	第14回	市場調査の基礎知識（目的、情報源、調査手法、情報整理・分析）	
	第15回	マーケットリサーチ①（百貨店）	
	第16回	マーケットリサーチ②（駅ビル）	
	第17回	ブランド／ショップ 分析（コンセプト、ターゲット、商品グレード、店舗空間）	
	第18回	トレンド分析1（社会背景とトレンドの仕組み）	
	第19～20回	トレンド分析2（2024 S/S プレタポルテコレクション分析・ブランド分析）	
教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネス I／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）		
成績評価方法	定期試験又は課題（80％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD19		
授業科目名	スタイリングコーディネート		
授業時間数	48		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	スタイリストの実務経験を持つ教員が、ファッションアイテムに関する基礎知識とスタイリングコーディネートの方法を指導する。 美容師、メイクアップアーティスト、ウォーキング指導のそれぞれの実務経験を持つ教員がスタイリングコーディネートに必要なヘアアレンジ、メイク方法、ポージングやウォーキングの指導をする。 アイテム名、ディテール、シルエット、ラインなど、商品に関する基礎知識を身につけ、スタイリングコーディネートでの応用力を身につける。			
到達目標	アパレル商品の基礎知識(アイテム名、シルエット、ライン、ディテール等)を身に付ける。 目的に合わせたスタイリングコーディネート提案ができる能力を身に付ける。			
授業計画	第1回	アパレル商品について(服種・アイテム、分類)		
	第2回	アイテム知識①(スカートの種類、特徴)		
	第3回	アイテム知識②(パンツの種類、特徴)		
	第4回	アイテム知識③(ワンピースの種類、特徴)		
	第5回	アイテム知識④(シャツ・ブラウスの種類、特徴)		
	第6～7回	アイテム知識⑤(ジャケット・スーツの種類、特徴)		
	第8～9回	アイテム知識⑥(コートの種類、特徴)		
	第10回	アイテム知識⑦(ニットの種類と特徴)		
	第11回	アイテム知識⑧(シルエット、ディテール)		
	第12回	アイテム知識⑨(ベビー・子ども服の種類と特徴)		
	第13回	アイテム知識⑧(シルエット、ディテール)		
	第14回	アイテム知識⑨(デニムアイテム、ミリタリーアイテム等)		
	第15回	アイテム知識とスタイリングイメージについて		
	第16回	テーマ別スタイリング提案①(色・季節)		
	第17回	テーマ別スタイリング提案②(TPO)		
	第18回	テーマ別スタイリング提案③(CM撮影)		
	第19回	ファッション作品集企画立案		
	第20回	ファッション作品集用撮影・レイアウト・プリント		
	第21回	ファッション作品集プレゼンテーション		
	教科書	担当教員において配布資料作成		
	成績評価方法	各課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考				

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD20		
授業科目名	デザイン画 I		
授業時間数	75		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの企画、服飾デザイン、テキスタイルデザインを行う教員が 人体のバランスの取り方から、イメージしたデザインを表現するための技術までを基礎から指導する。		
到達目標	人体のバランスの取り方を理解し、着装、シルエットの表現、着彩方法を身に付ける。雰囲気や素材感を表現する技術を身に付ける。		
授業計画	第1～2回	人体の描き方（課題名 クロッキー）+スカートデザイン画	
	第3回	人体バランスの描き方1（課題名 ドローイング）+パンツデザイン画	
	第4回	人体バランスの描き方2（課題名 写真からのドローイング）	
	第5回	衣服の描き方1（課題名 着装画）	
	第6～7回	衣服の描き方2（課題名 平面図）	
	第8～9回	コピックの使い方（課題名 デザイン画）	
	第10～12回	オリジナルデザイン表現1（課題名 オリジナルデザイン画）+シャツデザイン画	
	第13回	人体の描き方応用（課題名 クロッキー）	
	第14～15回	素材表現（課題名 素材表現画）	
	第16～17回	アクリル絵の具の使い方（課題名 デザイン画）	
	第18回	模写1（課題名ファッション画からの模写）	
	第19～20回	模写2（課題名 写真からの模写）	
	第21～22回	ドローイングと平面図（課題名 ドローイングと平面図）	
	第23～24回	オリジナルデザイン表現2（課題名 オリジナルデザイン画）	
	第25回	オリジナルデザイン表現3（課題名 修了制作デザイン画）	
教科書	ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD21		
授業科目名	パターンメイキング		
授業時間数	120		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、採寸から基本アイテムの製図まで、パターンメイキングの基礎を指導する。体と服とゆとりの関係を理解し、演習を通して平面から立体を作り出す構成感覚を身につけ、工業用パターンの作成までを行う。		
到達目標	体と服のゆとりの関係を理解し、平面から立体を作り出す構成能力を身に付ける。デザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける。被服構成の理解を深めそれに合わせた縫製仕様書や工業用パターンを制作する技術を身に付ける。		
授業計画	第1回	服飾造形の基礎・採寸	
	第2回	タイトスカート作図(課題名 タイトスカートパターン)	
	第3回	応用スカート作図(課題名 応用スカートパターン)	
	第4～6回	パンツ作図、トワルチェック、工業用パターン(課題名 パンツパターン)	
	第7～8回	身頃原型トワル組み・修正(課題名 身頃原型)	
	第9回	ダーツ展開、応用	
	第10～12回	ダーツ展開 確認テスト 台衿付シャツカラーシャツ作図、トワルチェック、工業用パターン (課題名 シャツパターン)	
	第13～14回	テーラードカラージャケット身頃作図・トワル組み (課題名 ジャケット身頃パターン)	
	第15回	ジャケット2枚袖作図・トワル組み(課題名 ジャケット二枚袖パターン)	
	第16回	ジャケットトワルチェック	
	第17回	ジャケットトレース・工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン)	
	第18回	ジャケットの衿・見返し等の展開(課題名 衿見返しの展開パターン)	
	第19回	衿の応用作図(課題名 衿パターン)	
	第20回	袖の応用作図(課題名 袖パターン)	
	第21回	ジャケット作図と確認テスト(課題名 ジャケットパターン)	
	第22回	ワンピース作図(課題名 ウエスト切り替え・プリンセスライン)	
	第23回	その他応用作図(課題名 ラグランスリーブ・フレアーコート)	
	第24回	ディテール作図(課題名 ディテール作図)	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD23		
授業科目名	ファッションデザイン論		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	ファッションデザインを学ぶうえで必要となる基本的な知識を学修する。ファッションデザインとは何か、また、その考えをどのように表現していくのか、そこに必要な知識・技術を身につける。デザインプロセスや造形の基本テクニック、などを学び、他の科目で実践的に身につけられる入口になるよう連携を図る。
到達目標	デザインの歩みと過去のデザイナーの思想や作品を理解する。 デザインの観察ポイントを理解し、作品を分析する力を養い、自らの造形力に応用する。
授業計画	第1回 近代デザインの歩み
	第2回 服飾デザインの歩み
	第3回 デザインの定義、分野
	第4回 服飾デザインの基礎・形態（点・線・シルエット）
	第5回 形の見え方
	第6回 コンポジション 1
	第7回 コンポジション 2
	第8回 服飾デザインへの展開
	第9回 デザインとイメージ
	第10～11回 デザインソースからの発想（建築・時代・美術・民族服）
	第12～13回 デザインソースからの発想（日本の美・服飾史・生物・色・素材）
	第14～15回 ファッション産業におけるデザインの役割
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD25		
授業科目名	修了制作		
授業時間数	198		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルデザインの提案を指導する。1年間の集大成としてマーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、企画書作成、プレゼンテーションまでを一貫して行う。		
到達目標	時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったデザインの提案力を身に付ける。デザイン画を表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。企画の意図を伝える企画書作成の力とプレゼンテーション能力を身に付ける。		
授業計画	第1～2回	マーケティングリサーチ	
	第3～4回	コンセプトワーク	
	第5～7回	オリジナルデザイン	
	第8～12回	パターンメイキング	
	第13～15回	ファブリケーション	
	第16～32回	ソーイング	
	第33～34回	コーディネート	
	第35～36回	プレゼンテーション準備	
	第37回	プレゼンテーション	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(60%)及びプレゼンテーションの内容評価(20%)、授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD26		
授業科目名	クリエイティブパターンⅠ		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	クリエイティブ		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンメイキング技術の応用として、2年次で制作する総裏仕立てのジャケット又はコートの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける			
到達目標	テーラードカラーの構成をより深く理解する。デザインや素材に合わせたパターン展開技術を身に付ける。総裏仕立ての構成を理解し仕立てに合わせた工業用パターンの制作技術を身に付ける。			
授業計画	第1回	総裏テーラードカラージャケット作図(課題名 ジャケット身頃パターン)		
	第2回	総裏テーラードカラージャケットトワル組み(課題名 ジャケット身頃トワル)		
	第3回	2枚袖作図とトワル組み(課題名 2枚袖、ジャケットトワル)		
	第4回	衿、見返し展開とトレース		
	第5～6回	裏地パターン(課題名 ジャケット裏地パターン)		
	第7～8回	ジャケット工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン)		
	教科書	担当教員において配布資料作成		
	成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考				

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD28		
授業科目名	セールステクニック I		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションビジネス		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、リアル店舗におけるファッション販売一連の流れに沿って、コンサルティングセールスのベースを指導する。 また、多様化するマーケットや購買チャネルの現状を理解し、デジタル時代に目指すべき販売員の要素を合わせて学修する。		
到達目標	商品の見せ方から取り扱い、販売員の基本動作、お客様との会話の中でニーズの深掘りが出来るテクニックを、演習を交えて修得する。合わせて、デジタル時代の販売員の役割や価値を理解する。		
授業計画	第1回	多様化する購買チャネルの現状と生活者意識・価値観	
	第2回	デジタル時代に求められる販売員 / リアルでもオンラインでも生活者を繋ぐ	
	第3回	商品知識とセールストーク	
	第4回	ロールプレイング①（ファーストアプローチとセカンドアプローチ）	
	第5～6回	ロールプレイング②（お客様情報と観察力、発信キーワードとキャッチ力）	
	第6～7回	ロールプレイング③（お客様ニーズの把握、商品提示と効果的な説明）	
	第8回	ロールプレイング④（クロージング）	
	教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（70%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD29		
授業科目名	SNSコミュニケーション		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	ブランディング・マーケティング・広告の仕事、まちづくり事業などの実績のある教員が、ファッションの現場で多く使用されているInstagramに重点を置き、演習を交えながら情報の発信方法やファン育成のノウハウといったセルフブランディングのための基礎スキルを指導し、就職後、即戦力となれるような人材育成を行う。
到達目標	Instagramの特性やアルゴリズムを理解し、さまざまな機能を使いこなしながらセルフブランディングの手法を会得する。また、写真撮影&加工方法、ライティングスキルも学ぶことで、情報発信のための基礎を身に付ける。
授業計画	第1回 SNSマーケティングの基礎知識（セルフブランディングの重要性／SNSの種類と特徴）
	第2回 Instagramの基礎知識（Instagramの特性／主要機能／事例研究）
	第3回 アカウント運用における戦略立案 （コンセプト・テーマ設計／ペルソナ・カスタマージャーニー策定）
	第4回 アカウント運用のポイント①（プロフィール設計／ハッシュタグ設計）
	第5回 アカウント運用のポイント②（KPI設計／インサイトの見方）
	第6回 アカウント運用のポイント③（アルゴリズムの理解／アカウントの育成テクニック）
	第7回 アカウント運用のポイント④（コンテンツ企画、ソーシャルメディア文章術）
	第8回 アカウント運用のポイント⑤（撮影、加工方法／アプリ紹介）
	第9回 アカウント運用のポイント⑥（動画マーケティング）
	第10回 Instagram以外のSNSアカウント運用（Twitter、TikTok等のアカウント運用）
	第11回 ビジネス活用におけるアカウント運用（Instagramマーケティングの基礎知識／インフルエンサー起用／キャンペーン設計／UGCの活用／整備すべきドキュメント等）
	第12回 SNSの法的リスクと炎上対策
教科書	担当教員による配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD30		
授業科目名	デザイン画Ⅱ		
授業時間数	45		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの服飾デザイン、テキスタイルデザイン、企画を行う教員が 一年次に履修したデザイン画の基礎をもとに 素材や質感ディティールなどを表現技法と合った画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現する手法を指導する。		
到達目標	水彩を中心に使用し発想したアイデアを正確にファッションデザインに落とし込む技術を身に付ける。コンペへの応募等を通してオリジナリティのあるデザイン表現の方法を身に付ける。		
授業計画	第1回	コンペ課題に向けたデザイン画1（課題名 コンペ・デザイン案）	
	第2回	コンペ課題に向けたデザイン画2（課題名 コンペ・デザイン画）	
	第3回	ドローイング（課題名 ドローイング応用）	
	第4～5回	商品企画（課題名 商品企画）	
	第6回	着彩技法1（課題名 デザイン画）	
	第7回	着彩技法2（課題名 デザイン画）	
	第8～9回	オリジナルデザイン（課題名 デザイン画）	
	第10～11回	コラージュからの発想（課題名 コラージュデザイン画）	
	第12～15回	秋冬コレクション企画（課題名 秋冬コレクション企画）	
教科書	ファッションデザインテクニク デザイン画の描き方		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD31		
授業科目名	社会研究Ⅱ		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て自己の社会的確立を目的とし、進路決定の基本となる考え方と就職活動の具体的方法を学ぶ。
到達目標	就職活動に行なう上で必要とされる知識やマナー(礼儀作法)、コミュニケーションを習得し、前向きに取り組む力を身に付ける。
授業計画	第1回 就職活動について(就職活動における基本的な流れや学校のルールなどを学ぶ)
	第2回 求人情報の見方、検索の仕方、問い合わせ方
	第3回 筆記試験対策①(一般常識)
	第4回 筆記試験対策②(SPI)
	第5回 筆記試験対策③(時事)
	第6回 プレゼンテーション①(自信をもって伝える)
	第7回 プレゼンテーション②(魅力あるプレゼンテーション)
	第8回 グループディスカッション対策①(流れと役割について理解する)
	第9回 グループディスカッション対策②(実践)
	第10回 グループディスカッション対策③(評価)
	第11回 働くときの基礎知識①(職業意識について(働く意味)・労働条件・賃金)
	第12回 働くときの基礎知識②(社会保険制度)
	第13回 働くときの基礎知識③(解雇と退職、関係法令)
	第14回 ライフキャリアプランニング(人生とお金の関係)
	第15回 インターンシップ・早期研修について
教科書	担当教員において配布資料作成 働く若者のハンドブック(熊本県雇用環境整備協会)
成績評価方法	定期試験(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD33		
授業科目名	ファッションビジネス論Ⅱ		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッションビジネスの総合的、かつ高度な理解を目的とした実務的な応用理論を解説する。国内のみならず、世界のファッションビジネスの変遷と現状、産業構造や現在のビジネスシステムについて理解を深める。	
到達目標	ファッションビジネスにおける実務的な専門知識を修得し、組織の一員として機能できる人材となる為のビジネススキルを身に付ける。	
授業計画	第1回	ファッションビジネスの特性と役割
	第2回	繊維産業の歴史 / 日本のファッションビジネスの変遷（FBをめぐる環境変化）
	第3回	近年のファッションビジネス動向 グローバル化の態様
	第4回	ファッション消費行動 ファッション消費の変遷
	第5回	グローバルな視点で捉えた世界のアパレル産業
	関	
	第7回	ファッションMD①（アパレル、SPA）
	第8回	ファッションMD②（リテールMDとバイイング）
	第9回	商品構成とVMD
	第10回	価格と原価
	第11回	アパレル生産管理・品質管理
	第12回	アパレル物流
	第13回	SCM／情報システム
	第14回	アパレル流通戦略と商取引
	第15回	アパレル営業とチャネル管理
	第16回	店舗運営管理（単独店/多店舗/ネットショップ運営）
	第17回	ファッション企業、ショップのプロモーション
	第18回	職種、自己啓発、管理
	第19回	マネジメント基礎知識／IT知識
	第20～23回	計数管理
	第24回	ファッションビジネスに関する法務知識／貿易、関税 について
	第25回	注目される業界キーワード
	教科書	ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
	成績評価方法	定期試験（80％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。
	備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD34		
授業科目名	ファッションマーケティングⅡ		
授業時間数	45		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、アパレル業界におけるマーケティング、及びプランニングの流れを解説し実践する。 マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを通し、市場の流れ、業界動向、流行を読み取る力を修得する。
到達目標	マーケットリサーチ、ロジカルシンキングを通して、情報分析、予測、展開ができる力を身に付ける。又、業界の動向、流行、市場の流れを読み取る力を養い、それを基にした商品企画、プロデュース力を身に付ける。
授業計画	第1回 マーケティング戦略と事業環境の分析方法 第2回 SWOT分析分析（課題演習） 第3回 アパレル企業のマーケティング 第4回 小売企業のマーケティング 第5回 インターネットとマーケティング 第6回 市場、ファッション業界の情報収集と分析、考察について 第7～8回 トренд分析（2024 A/ W プレタポルテコレクション分析・ブランド分析） 第9～11回 ファッションマーケット（熊本）の現状リサーチと分析 第12回 ファッションマーケット分析 プレゼンテーション 第13回 ロジカルシンキング 理論 第14回 ロジカルシンキング 実践 第15回 ロジカルシンキング 実践・検証
教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（60％）及び、テーマに沿った演習課題（20％）、授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD35		
授業科目名	ブランドプロデュース		
授業時間数	75		
必修・選択の別	選択		
対象コース	クリエイティブ		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	－		

シラバス

授業内容	商品企画の基本的な流れを学び、既存のブランド研究をもとに、市場やターゲットにマッチした商品提案力を身につける。ファッションマーケティングの授業と連動させ、市場調査から導いたコンセプトに合わせた提案ができる力を修得する。		
到達目標	商品企画の感性を養い、デザイン展開の幅を広げ、より実践的なプロデュース力を身につける。リサーチから問題点を見出し、解決に向けたコンセプトをたて、商品を企画する力を身につける。		
授業計画	第 1 回	商品企画とは・ブランディングとは	
	第 2 ～ 4 回	既存ブランド研究	
	第 5 ～ 8 回	オリジナルブランド企画書	
	第 9 ～ 12 回	オリジナルブランド制作	
	第 13 ～ 16 回	オリジナルブランド制作	
	第 18 ～ 20 回	オリジナルブランドプロデュース、展示、発表	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点 (70%) 及び授業参加への積極性を重視する平常点 (30%) により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD36		
授業科目名	グラフィックデザイン		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	グラフィックデザインの実務経験がある教員が、グラフィックデザインアプリ（イラストレーター・フォトショップ）を使用し、印刷物制作に必要な知識や技術を学修する。アプリの操作方を始め、文字の扱い、色彩構成、写真撮影方法、レイアウト方法を紙媒体制作を通じて学ぶ。オリジナルブランドのシミュレーションを通じファッションビジネスとグラフィックデザインの関係性を確認する。
到達目標	グラフィックデザインアプリの使用方法を学び、ビジュアルデザインを身につける。ファッションにおけるブランディングを展開する知識と技術を習得する。
	第1回 グラフィックデザインの概要、アプリの役割
	第2～4回 Illustrator基本操作 チュートリアル
	第5～6回 Photoshop基本操作 チュートリアル
	第7～8回 平面構成
	第9～10回 イメージマップ作成
	第11～12回 写真撮影基礎
	第13～15回 フォトブック作成
	第16～20回 オリジナルブランド ロゴ作成
	第21～25回 オリジナルブランド 広報ツール作成
	第26～30回 オリジナルブランド カタログ作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD37		
授業科目名	アパレル演習		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において店舗運営、バイヤー、接客、販売等の実務経験を持つ教員が、店舗を立ち上げる場合のマーケティングから、実際の店舗での接客・販売技術についてまでを指導する。実際のブランドの店舗を見学し、その歴史やコンセプト、VMDやお客様への伝え方などを確認する。			
到達目標	アパレル業界での店舗運営から、お客様に必要とされるお店作りや品揃え、接客などについて、を学ぶ。			
	第1回	熊本ファッションの歴史		
	第2回	ブランド歴史と商品知識		
	第3～5回	商業施設の立ち上げに伴うマーケティングとは		
	第6回	演習報告と振り返り		
	教科書	担当教員において配布資料作成		
	成績評価方法	レポート内容評価(40%)と実習先からの評価表(20%)及び実習参加への積極性を重視する平常点(40%)により評価する		
備考				

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD38		
授業科目名	卒業制作		
授業時間数	245		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルブランドとショップのプロデュースを指導する。マーケティングリサーチを行い、各専攻コースに分かれ、デザインコースはブランドコンセプト、デザイン、パターン、ソーイング、ビジネスコースはショップコンセプト、仕入れ計画、VMD、プロモーション、ショップ運営までを一貫して行う。
到達目標	グループワークにより他者の様々な意見を聞き討論を行うためのコミュニケーション能力を身に付ける。時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったブランドやショップのプロデュース方法と提案力を身に付ける。デザインコースはデザイン力とそれを表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。ビジネスコースは店舗運営の為の計数管理や販売接客技術、VMDやプロモーションの実践力を身に付ける。
授業計画	第1回 オリジナルブランド・ショップについて
	第2回 マーケティングリサーチ
	第3～5回 コンセプトワーク
	第6～7回 ブランドコンセプト、ショップコンセプト決定
	第8～12回 デザイン展開、バイイング、VMD、プロモーション
	第13～16回 制作、販売準備、ツール制作
	第19～21回 作品展示準備
	第22～23回 展示、運営
	第24回 検証
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(50%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(50%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD39		
授業科目名	ドレーピング		
授業時間数	75		
必修・選択の別	選択		
対象コース	クリエイティブ		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	身体の立体的構造を理解し、ドレーピングの基本的な知識と技術を習得することで、よりデザイン画に近い立体を作り出す技術を身につける。パターンメイキングでの平面製図と連動させながら、よりパターンの仕組みと構造を理解するとともに、ドレーピングだからこそできる立体表現力を身につける。		
到達目標	デザイン画から、立体物の構造を想像し、形にする考え方を理解する。 平面製図の知識と組み合わせて、よりデザイン画に近い形を表現する技術を身につける。		
授業計画	第1週	立体の観察、立体裁断の基礎	
	第2週	タイトフィッティング	
	第3週	トルソーシルエット	
	第4週	身頃原型	
	第5週	身頃原型応用、ダーツバリエーション	
	第6週	スカートの構造原理、タイトスカート	
	第7週	フレアスカート	
	第8～9週	ブラウス	
	第9～10週	ワンピース	
	第11～12週	ディテール	
	第13～14週	モードコピー①	
	第15～17週	モードコピー②	
	第18～20週	モードコピー③	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD40		
授業科目名	クリエイティブパターンⅡ		
授業時間数	75		
必修・選択の別	選択		
対象コース	クリエイティブ		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にてアパレルC A D、パターン修正等の実務経験のある教員が、パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、リアルクローズに必要なパターン技術を修得していく。		
到達目標	パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ正確かつスピーディーなデザインジャケットの作図技術を身に付ける。リアルクローズで取り入れられているアイテムやシルエット、ディテールに合わせたパターンメイキング技術を身に付ける。		
授業計画	第 1 ～ 2 回	ハイウエスト切替えのワンピース作図	
	第 3 ～ 4 回	デザインジャケットの作図 1 (課題名 ジャケット 1 / 2 パターン)	
	第 5 ～ 6 回	デザインジャケットの作図 2 (課題名 ジャケット実物パターン・トワル)	
	第 7 ～ 10 回	ディテール作図 (課題名 ディテールパターン)	
	第 11 ～ 12 回	モードコピー 1 (課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第 13 ～ 15 回	モードコピー 2 (課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第 16 ～ 18 回	モードコピー 3 (課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第 19 ～ 21 回	モードコピー 4 (課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第 22 ～ 25 回	モードコピー 5 (課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	各制作課題における作品評価点 (80%) 及び授業参加への積極性を重視する平常点 (20%) により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD41		
授業科目名	クリエイティブソーイング		
授業時間数	90		
必修・選択の別	選択		
対象コース	クリエイティブ		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルC A D、パターン修正等の実務経験のある教員が、業界で即応できる生産技術を指導する。総裏テーラードジャケット又はコートの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製技術を身に付ける		
到達目標	総裏テーラードジャケット又はコートの制作演習を通して素材特性を活かした技術を習得し、デザインに応じた縫製技術と表現力を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を作成することで、縫製指示や生産管理の能力を高める。		
授業計画	第 1 回	応用部分縫い 1 (課題名/角縫い、逆カーブ縫い)	
	第 2 ～ 3 回	応用部分縫い 2 (課題名/ポケット部分縫い)	
	第 4 回	生地の裁断 (課題名/ジャケットの裁断)	
	第 5 ～ 6 回	総裏ジャケット 1 (課題名/ジャケットの身頃組立)	
	第 7 ～ 8 回	総裏ジャケット 2 (課題名/衿作り、衿付け)	
	第 9 ～ 10 回	総裏ジャケット 3 (課題名/袖作り、袖付け)	
	第 11 ～ 13 回	総裏ジャケット 4 (課題名/裏作り、裏付け、仕上げ)	
	第 14 ～ 30 回	オリジナルデザイン制作 (課題名/卒業制作作品)	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点 (80%) 及び授業参加への積極性を重視する平常点 (20%) により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD42		
授業科目名	WEBビジネス		
授業時間数	16		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	WEB・アプリ制作などの実績のある教員が、WEBビジネスや、EC(Electronic Commerce電子商取引)において、知っておくべき基礎知識と、一個人でもECの開設、運用方法等を指導する。
到達目標	ネットショップの立ち上げから集客まで、管理・運営に関する知識を修得する。
授業計画	第1回 ファッション分野におけるネットビジネスの現状・EC構築について
	第2回 IT基礎知識
	第3回 ECサイト運用をする際に知っておくべき法律
	第4回 ECサイト分析について
	第5回 WEB上でのブランディング
	第6～7回 画像、コンテンツについて
	第8回 フルフィルメント設計
	第9～10回 集客プロモーションについて
	第11～18回 ネットショップ構築
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD44		
授業科目名	ネットショッププロデュース		
授業時間数	10		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションビジネス		
開講年次	2年次	開講時期	後期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	WEB・アプリ制作などの実績のある教員が、WEBビジネスや、EC(Electronic Commerce電子商取引)の基礎知識をベースに、一個人でもECの開設、運用ができる力を養い、ネット市場とネットショップ運営に関する授業を行う
到達目標	ネットショップの立ち上げから集客まで、管理・運営に関する知識、技術を修得する。
授業計画	第1～5回 ネットショップ構築
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD45		
授業科目名	セールステクニックⅡ		
授業時間数	90		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションビジネス		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、多様化するマーケットや購買チャネルの中で、より高度な専門知識・技術・情報を提供し、商品提案を含め買い手の満足を得られる人材となるべく、実店舗における販売員の役割を解説、実務指導する。ロールプレイングを通し、情報のキャッチ力とコミュニケーションスキルの向上を図る。又、顧客管理の重要性、クレーム対応についての理解を深める。		
到達目標	顧客心理に応じた接客方法、アプローチからクロージング迄のプロセスにおいて、状況に応じた接客技法を修得する。 顧客のニーズとビジネスの両面から販売を考えられる力を養う。		
授業計画	第1回	デジタル時代における実店舗の役割	
	第2回	お客様とは お客様にとって店舗とは	
	第3回	接客のプロセス ～顧客との信頼関係を築く～	
	第4～5回	コーディネート、カラーアドバイス	
	第6回	素材の取り扱い（セールストークと手入れ、保管）	
	第7回	お直しの基準	
	第8回	売上に繋がる接客技法	
	第9回	ロールプレイング（セールステクニック① アプローチ）	
	第10～11回	ロールプレイング（セールステクニック② 商品提示・効果的な説明）	
	第12～13回	ロールプレイング（セールステクニック③ 迷いの解決）	
	第14～15回	ロールプレイング（セールステクニック④ セット率アップ）	
	第16～17回	ロールプレイング（セールステクニック⑤ クロージング、お見送り）	
	第18～19回	ロールプレイング（アプローチ～クロージング、お見送り迄トータル実践）	
	第20～21回	冠婚葬祭知識（慶事、弔辞、お中元、お歳暮）	
	第22回	クレーム対応と処理	
	第23回	顧客作りの重要性和管理術	
	第24～25回	DMについて（サンキューレター、フェア、新商品案内 等）	
	第26～27回	外国人のお客様対応	
	第28回	AIと接客 / 人にしかできないサービスの提供	
	第29回	お客様に寄り添うということ	
	第30回	成果とは	
</			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD46		
授業科目名	ショップマネジメント		
授業時間数	135		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションビジネス		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション小売店舗における運営、管理について指導する。 小売形態の特性を理解し、どのような目的で、どのように運営されるのか、又、店舗を効率的に・効果的に運営し、目的を達成する為のマネジメントのトータルの考え方を修得する。			
到達目標	ファッション店舗における一連の管理・運営業務を理解する。 マネジメントサイクルを理解し、店舗を継続的に運営する循環プロセスを修得する。			
	第1回	ファッションビジネスを取り巻く現状と消費者動向		
	第2回	マネジメントとは / マネジメントサイクル		
	第3回	小売店舗の組織、運営特性		
	第4回	マネジメント上の共通点と相違点		
	第5回	マネージャーの職務 / リーダーシップ		
	第6回	労務管理		
	第7回	コンプライアンス / 関連法規		
	第8回	店舗運営管理		
	第9回	経営、計数管理①（価格設定、価格と消費者心理）		
	第10回	経営、計数管理②（売上）		
	第11回	経営、計数管理③（ショップの経費及び利益計画）		
	第12～14回	品揃え/仕入計画と販売計画		
	第15回	バイイング業務について		
	第16回	ファッション企業のプロモーション活動とは（分類と特性）		
	第17回	ショッププロモーション（プレストアとインスタ）		
	第18回	VMD戦略（店舗コンセプトの具現化 / VMDの仕組み）		
	第19回	売場演出①（VMDにおける3つのゾーンの役割 / 売場の回遊性）		
	第20回	売場演出②（ディスプレイと陳列技法）		
	第21回	売上とVMDの関係性と要素		
	第22～23回	MDサイクル(理論と演習)		
	第24回	シーズン販売計画とマンスリー販売計画		
	第25回	フェア計画について		
	第26～27回	フェアプランニング演習		
	教科書	担当教員において配布資料作成 ファッションビジネスⅡ／ファッションビジネス用語辞典（日本ファッション教育振興協会） 図解VMDの基本（織研新聞社）		
	成績評価方法	定期試験（70％）及び、テーマに沿った演習課題（20％）、授業参加への積極性を重視する平常点（10％）により評価する。		
備考				

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD47		
授業科目名	ショッププロデュース		
授業時間数	80		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションビジネス		
開講年次	2年次	開講時期	後期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、セールスマネージャー、バイヤーの実務経験を持つ教員が、ショップ出店における一連の業務を指導する。		
到達目標	ショップの方向性や戦略を企画・提案できるビジネススキルと、生活者のライフスタイルにおいて、察知した商品を具現化し、売れるように仕組む演出技術を修得する。		
授業計画	第1回	社会背景と業界を取り巻く現状 / 市場を知ることの重要性、分析手法について	
	第2～3回	市場分析（中心市街地リサーチ / 出店エリア環境リサーチ/ 消費者意識・動向）	
	第4～5回	誰を対象とするのか（セグメントからのターゲット選定）	
	第6～7回	ブランディング戦略（競合との差別化 / コンセプト / プロダクト）	
	第8～10回	品揃え計画（プロダクトMAP / 商品ライン検討	
	第11～12回	仕入れ計画（ライン別計画 / 仕入れ交渉）	
	第13～14回	プロモーション計画	
	第15回	店舗運営計画	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（80％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD48		
授業科目名	スタイリングワーク		
授業時間数	45		
必修・選択の別	必修		
対象コース	アパレルデザイン・コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	スタイリストとしての実務経験がある教員が それぞれのテイストに合わせたスタイリング技術を指導する。ヘアメイクや骨格診断のそれぞれの実務経験を持つ教員がスタイリングコーディネートに必要なヘアアレンジ、メイク方法、コーディネート等を指導をし、ファッションブックを制作する
到達目標	スタイリングの表現の幅を広げ、イメージやテイストにあうスタイリングの提案ができる力を身に付ける。
授業計画	第 1 回 ・骨格診断 基礎 第 2 回 ・骨格診断 応用 第 3 回 ・骨格診断 実践ワーク 第 4 回 ・ヘアメイクとファッションイメージ 第 5 回 ・ヘアメイク 実践 第 6 回 ・スタイリングワーク 第 7 回 ・ファッションブック作成(企画提案) 第 8 回 ・ファッションブック作成(企画提案・物集め) 第 9 回 ・ファッションブック作成(写真撮影、レイアウト) 第10回 ・ファッションブックプレゼン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2025FD49		
授業科目名	品質管理		
授業時間数	15		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	—		

シラバス

授業内容	アパレルに求められる品質と消費性能について理解し、品質基準、品質管理、品質評価、洗濯などの取り扱い方法や品質表示について学ぶ。実践的なしみ抜きなども取り入れ、現場で役立つ品質にかかわる知識を身につける。また、お客様に伝えるべき品質と取り扱いを理解し、その伝え方やクレーム対策についても学ぶ。
到達目標	アパレル商品の品質や消費性能について理解し、その取扱い方法を身につける。 アパレル商品の品質を見る上でのポイントを理解し、その品質の良し悪しを判断できるようになる。 アパレル商品において品質不良があった場合、問題点が把握でき、クレーム対応などで説明ができるようにする。
授業計画	第1回 品質と消費性能 第2回 品質管理 第3回 繊維製品の品質評価 第4回 製造工程別管理の要点 第5回 品質要求度とチェックポイント 第6回 繊維製品の品質表示 第7回 繊維製品の安全性 第8回 繊維製品の取り扱い 第9回 しみ抜き 第10～11回 しみ抜き実践 第12～13回 商品の保証とクレーム対策 第14～15回 品質の情報伝達
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	